



次回  
2/14(金)

## 第2回対話型ワークショップ

新しい製品・サービスを創出し、

20～30年後のライフスタイルをデザインしよう！



イノベーションのツボは対話にある！！



### 主旨

信州大学では、イノベーションを創出するために、多様な参加者による対話型ワークショップ(対話型WS)を実施します。長野県の豊かな自然を保ちつつ、安全・安心かつ便利な未来についてビジョンを明らかにし、20～30年後の『信州×世界の未来』をデザインします。現在の人々が有する潜在的なニーズ(あったらいいな)を掘り起し、それを実現するために必要な課題と解決策を明らかにすることで、将来への糸口を掴みます。

## ◆ 対話型ワークショップとは？ ◆

対話型ワークショップとは、参加者同士の対話を通じて、新たなアイデアの創出や課題解決を行うワークショップです。多様な参加者の知識や経験を対話に取り込み、新しい価値やこれまでの価値を変えるものを創造します。

## 第2回目対話型ワークショップ

平成25年12月4日(水)、あがたの森文化会館にて第2回対話型ワークショップ「新しい製品・サービスを創出し、20～30年後のライフスタイルをデザインしよう」を開催しました。第1回で創出された将来ビジョンが示す社会における消費者のライフスタイルを具体的に考え20～30年後にビジネスチャンスをつかみそうな、新しい商品やサービスのアイデアを出していただきました。

ワークショップ参加者33名  
ファシリテーター

土井達也 氏(信州大学URA室)  
鳥山香織 氏(信州大学URA室)

日時:2013年12月4日 水曜日 18:30～21:30

場所:あがたの森文化会館

主催:信州大学産学官連携推進本部

協力:特定非営利活動法人SCOP、長野県デザイン振興協会

対象:地域の皆様、企業関係者、行政関係者、大学教職員

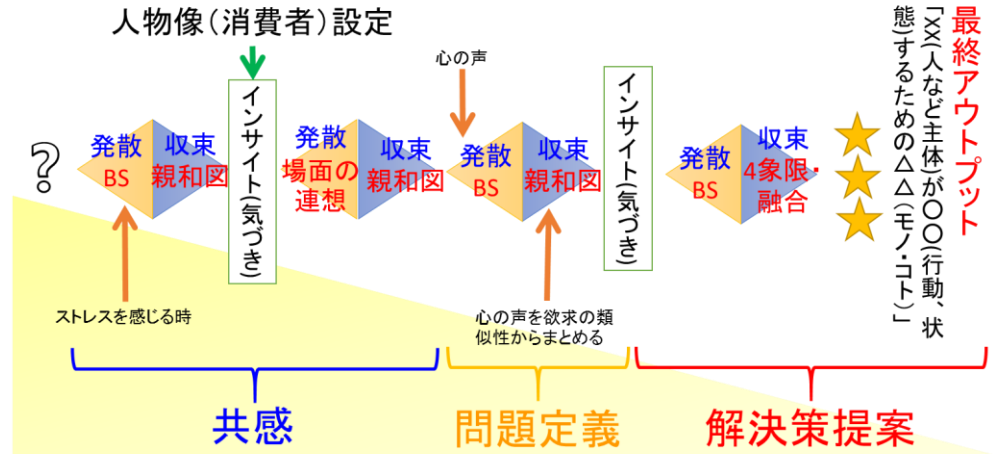
## プログラム

『ストレスフリーな社会を実現するためのコミュニケーションを円滑化する製品・アイデアのコンセプト創出』

18:30	オープニング
19:00	第1部:20～30年後の消費者をイメージしよう!
20:00	休憩
20:10	第2部:20～30年後の新しい商品・サービスを創出しよう
21:10	まとめ
21:25	次回WS紹介
21:30	解散

## 第2回対話型ワークショップ 対話プロセス

目的:  
ストレスフリーな社会を実現するためにコミュニケーションを円滑化する製品・サービスのアイデアを得る。



# 第2回目対話型ワークショップ 成果発表！！！！

## Aチーム

### <消費者像>

名前 松島 耕作  
性別 男性  
年齢 45歳  
家族構成 妻、子供、犬、  
職業 営業(東京に単身赴任)  
趣味 食べ歩き、犬を飼っている  
好きな食べ物 ラーメン、コーヒー  
ぼやき もう東京に帰ってえよ、  
だけど今が我慢時

### <製品・サービスのコンセプト>

松島耕作が「職場で良いチームワーク  
を作っておけば良かったなー！」を満た  
す、チームビルディングコンサルタント

例:相手の気持ちが見える。  
思った通りに伝わる。  
評価しあう。相手の評価が分かる。  
目標を共有する。  
同じ服を着る。→連帯感を作る。



## Bチーム

### <消費者像>

名前 ヘ・ケイサ(韓国人)  
性別 男性  
年齢 36歳  
家族構成 妻、1男、1女  
職業 中小IT系企画営業  
趣味 西友に行くこと  
好きな食べ物 餃子、ビール  
ぼやき 本物のキムチ食べたいな

### <製品・サービスのコンセプト>

日本が好きで来日したケイサさんが日  
本の習慣を理解するための「進ぬ！電  
波少年」

例:外国人・日本人二人でペアを作る  
二人で共同作業をする。  
二人でゆるキャラを着る。



## Cチーム

### <製品・サービスのコンセプト>

松本太郎の家庭におけるオヤジ復権を  
実現するための「オヤジ復権コンサル  
ティングサービス」

例:父の日を毎日作る  
父として足りない部分、必要な点を  
示唆。  
職場インターン

### <消費者像>

名前 松本太郎  
性別 男性  
年齢 50歳  
家族構成 娘、息子、両親  
職業 サラリーマン  
趣味 菊栽培、読書  
好きな食べ物 酒  
ぼやき 今日も朝から疲れたな！



## Dチーム

### <製品・サービスのコンセプト>

職場における相互の立場理解/ネガ  
ティブフィリングをポジティブに変え  
る発想/楽しい人間関係の形成補助  
器の提案/より快適によりスムーズに  
ストレスフリーの世界へ

例:小言を癒し発言に変換  
ポジティブ計測器  
小言を癒し発言に変換

### <消費者像>

名前 平家やっくん  
性別 男性  
年齢 40代後半  
家族構成 妻、子供2人  
職業 エンジニア系  
趣味 食べ歩き  
好きな食べ物 和食洋食オールマイティ  
ぼやき 恐妻家で恋人あり、時間に追わ  
れ...恋人にも会えない。ストレスばかりだ



## Eチーム

### <消費者像>

名前 モンキッキ  
性別 男性  
年齢 35歳  
家族構成 妻、5歳娘、1歳息子  
職業 MR  
趣味 飲み会、ドライブ  
好きな食べ物 イタリアン、ワイン、日本酒  
ぼやき こんなはずじゃ...

### <製品・サービスのコンセプト>

きつい言葉を変換するサービス/妻がめ  
ちやくちやくわいに見えるメガネ・コンタ  
クトレンズ/家バー/定期的に仲良くなるイ  
ベントサービス

例:きつい言葉を変換。  
妻がめちゃくちゃわいに見える。  
家バー



# 第3回対話型ワークショップ予告

第3回目対話型ワークショップは、『ストレスフリー社会を実現する生体反応を活用したコミュニケーション・ツール』を具体化し、実現可能性を探ります。

日 時: 2014年2月 14日(水) 13:30~18:00(受付13:00)  
場 所: 信州大学 信州地域技術・医療展開センター  
1階103会議室

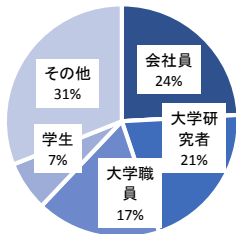
対 象: 地域の方、企業の方、行政の方、大学教職員・学生  
参加費: 無料 定員35名  
申込先: 下記、お問合せよりお申込み下さい



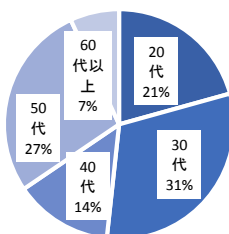
## ● 参加者へのアンケート結果 ●

- アンケート配布数: 30名
- 回収数(回答率): 29名(96.6%)

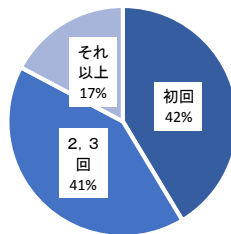
### 1. 参加者属性



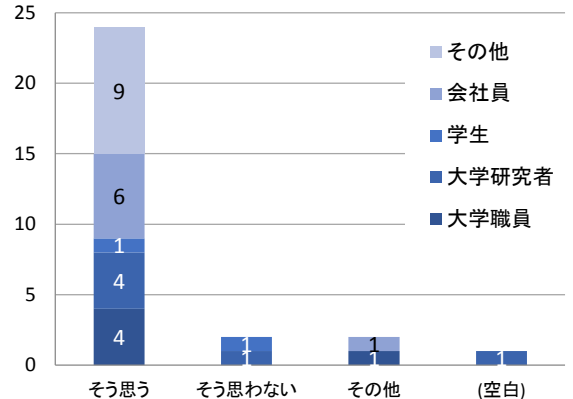
### 2. 参加者年代



### 3. ワークショップ経験



Qブレインストーミングで創出された意見をチームで共有・整理したことにより、新たな気づき(アイデア)につながりましたか？



## ● 対話型ワークショップに参加してのご感想・ご意見 ●

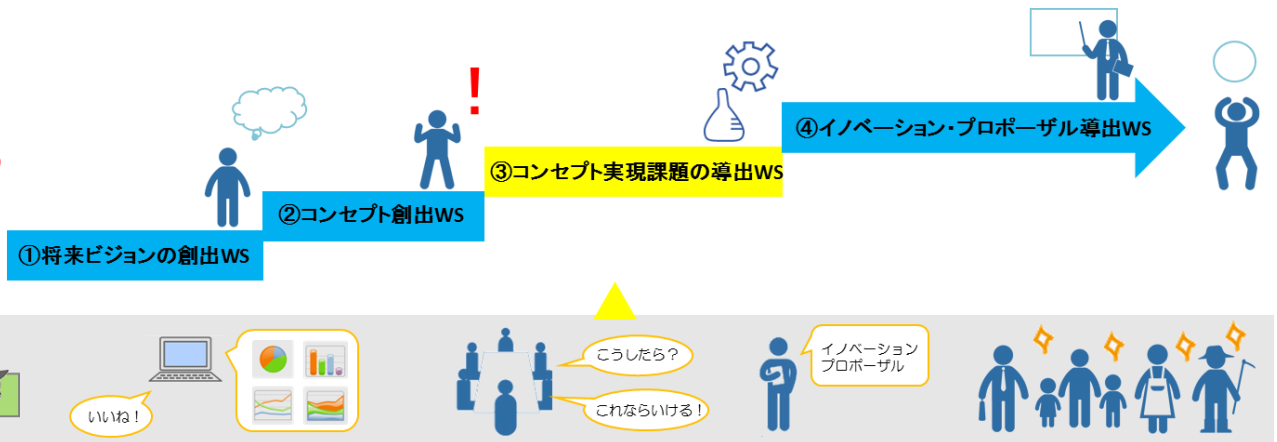
自分以外のメンバーから出たアイデアに自分のアイデアが加わって思わぬ方向に遊んでいくのがおもしろかった!!!  
(20代・女性・学生)

ブレインストーミングの基礎が勉強できた気がします。仕事に生かしたいと思います。  
(20代・男性・大学職員)

大変面白かった。少し若返った感じ  
(60代以上・男性・会社員)



?



## - 発行・お問合せ -

信州大学 産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーション(URA)室 (担当: 鳥山・土井)

Tel: 0263-37-3530

Fax: 0263-37-3425

E-mail: info\_ura@shinshu-u.ac.jp

HP: <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/innovation-taiwa/>

Facebook: 『信州大学イノベーション対話プログラム』

<https://www.facebook.com/shinshu.university.innovationtaiwa>

発行日: 平成26年 2月1日

Facebook

